

# 平成20年度

# 五霞町役場温室効果ガス削減計画実施結果

役場では、五霞町役場温室効果ガス削減計画に基づき、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

内容は、基準年度（平成17年度）に対し電気使用量と公用車燃料使用量を約6%削減しようとするものです。

期間は平成19年度から平成23年度までの5年間です。

## 実施結果について

### ①電気使用量

電気使用量は表1のとおりです。

平成20年度は、基準年に対して14,000kwhの削減を目標としていましたが、目標値を上回る34,455kwhの削減ができました。

なお、二酸化炭素に換算すると299,868kgを排出したことになり、基準年から19,122kgの削減ができました。

(単位：kwh)

表1

施設名	基準年の電気使用量	H20年度		比較増減 (対基準年)	削減率 (対基準年)
		年間電気使用目標値	実施結果		
役場本庁舎	236,821	231,171	222,253	△ 14,568	△ 6.15%
ふれあいセンター	28,617	27,917	21,823	△ 6,794	△ 23.74%
西児童館	13,833	13,483	12,404	△ 1,429	△ 10.33%
南児童館	12,807	12,507	12,599	△ 208	△ 1.62%
保健センター	67,764	66,084	71,511	3,747	5.53%
中央公民館	118,423	115,483	115,561	△ 2,862	△ 2.42%
B&G海洋センター	96,492	94,112	84,151	△ 12,341	△ 12.79%
合計	574,757	560,757	540,302	△ 34,455	△ 5.99%

②公用車燃料使用量  
公用車燃料の使用量は表2のとおりです。

平成20年度は、基準年に対して、600ℓの燃料削減を目標にしていましたが、結果は336ℓの増加でした。

役場で管理している公用車は44台あり、実施結果では、公用車の半数近くの21台で燃料使用量が増加している結果です。

主な要因としては、業務の多様化による出張回数増加や児童・生徒下校時の「防犯パトロール」などが挙げられます。なお、二酸化炭素に換算すると64,048kgを排出したこととなり、基準年から780kgの増加となりました。

(単位：ℓ)

表2

基準年の燃料使用量	H20年度		比較増減 (対基準年)	削減率 (対基準年)
	年間燃料使用目標値	実施結果		
27,251	26,951	27,587	336	1.23%

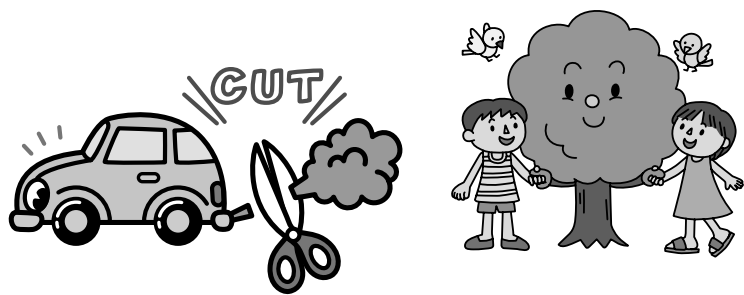
平成21年度の目標について  
今年度は、基準年に対し電気使用量を21,000kwh、公用車燃料を700ℓ削減することを目指しています。

特に、公用車燃料使用量については、2年連続で目標を達成できなかったため、今後はエコ運転の徹底化により、公用車燃料の削減に向けた様々な取組を推進します。

取組の実施内容について  
役場、中央公民館、B&G海洋センターに「グリーンカーテン」を設置しました。

グリーンカーテンは、ヘチマやゴーヤ、アサガオなどのつる性の植物を植え、窓の外をつるで覆うことで、夏の日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があるといわれています。

また、冷房の温度を28℃に設定するなど温室効果ガス削減への様々な取組を実施しています。



○お問い合わせ

建設環境課生活環境G

☎ 084-3618